

コロナ禍・豪雨災害：自然災害 に向き合う

新型コロナウイルスの流行は、私たちの生活を一変させました。この新型コロナウイルスの起源については議論があるものの、自然界の生態系から人類に入ってきたウイルスであることは間違いありません。その意味からは、コロナ禍も自然現象であり、自然災害の一つと捉えることができます。一方、コロナ禍が続くなか、岐阜県含め各地では、深刻な豪雨災害が起き、これまでとは異なる対応が求められています。このように複雑化した自然災害とどう向き合うかは身近で喫緊のテーマです。そこで、本講演会では、こうした自然災害との向き合い方について、コロナ禍や豪雨災害を例に、自然科学、社会科学、行動科学の観点から考えてみたいと思います。

オンライン開催

Zoomウェビナー

募集人員 500人(先着順)

申込方法 メールでのお申込み

kokuken@gifu-u.ac.jp

【件名】11/20学術講演会申込み

【本文】氏名・連絡先
(メールアドレスと電話番号)
返信にてZoomウェビナー参加のURLをお送りします。

申込締切 令和2年11月13日(金)

令和2年 **11**月**20**日 **金** 13:00▶16:00

PROGRAM

13:00 開会挨拶

13:10 森脇 久隆 (岐阜大学・学長)

13:10

13:20 日本学術会議挨拶

13:20 主催者挨拶

13:30 池田 素子 (日本学術会議中部地区会議代表幹事、日本学術会議第二部会員、名古屋大学大学院生命農学研究科・教授)

13:30 科学者との懇談会活動報告

13:40 松田 正久 (中部地区科学者懇談会幹事長)

13:40 学術講演会

15:55 「コロナ禍：感染症と自然災害」

杉山 誠 (日本学術会議連携会員、岐阜大学・副学長)

「コロナ禍：防災減災と被災」

小山 真紀 (岐阜大学・流域圏科学研究センター・准教授)

「コロナ禍：親密圏における暴力(DV・児童虐待など)」

立石 直子 (日本学術会議連携会員、岐阜大学・地域科学部・准教授)

15:55 閉会挨拶(司会)

16:00 永田 知里 (日本学術会議連携会員、岐阜大学・医学系研究科・教授)

※下線の講演者等は、主催地区会議の会員・連携会員